

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター おひさま		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2024年 11月 1日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	2024年 12月 16日		～ 2025年 1月 14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8(10クラス)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の多くが母体の児発、放デイ事業所を利用しているの で、療育活動時の利用者の様子を知る事が出来、療育担当者 と連携を図る事が出来る。	園や学校を訪問する前には療育活動を観察するようにしてい る。また、療育の担当者と情報共有を行っている。その他、 訪問支援員が療育活動時のサポートや送迎サポートに入っ て、利用者と直接関わりを持っている。	
2	相談支援についても同じ施設内の事業所を利用されているの で情報共有や連携がとりやすい。	担当者会議でも事前に同施設内の相談員と訪問員、療育担当 者とでそれぞれ家庭の情報、学校、園の情報、療育活動での 情報を共有している	
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が一人だけのため、日程調整等が難しい所がある	母体の事業所含め、全体的な人員不足	
2	訪問支援は報告書で保護者に報告しているが、紙面のやり取 りだけでは、保護者の反応が返ってこない為、意見、要望な どが上がってくるのが少ない。	担当者会議の場以外には保護者と話し合う機会が取れて いない為、コミュニケーション不足になっている。報告書に 簡単な添え文も付けているが、意見や感想要望などが汲み取 れないことが多い。	毎回の報告書に感想、意見、要望等を書き残せる文書を添付 する。また、LINEやメール等で気軽に意見を聞いたり、直 接電話で話す等、それぞれの個々にあった方法で対応しなが ら、意見を吸い上げていく。
3			